



陽気ぐらしの手本 雰囲気を教会に

7月大教会教会長会議
立教187年7月22日
大教会長 片山幹太

本島通信

発行所 〒763-0223 香川県丸亀市本島町泊268
天理教本島大教会
電話 0877-27-3321 (代)
本島通信編集室 R240725-0728-15
奈良県天理市指柳町270-1
本島誌所 〒632-0093
電話 0743-63-1571 (呼)
https://www.honjima.com
Email: webmaster@honjima.com
大教会 朝夕おつとめ時間
【6月1日～8月31日】
朝づとめ 午前6時00分
夕づとめ 午後7時00分

去る6月29日、前の大教会役員片山^{存し}志主50年祭、片山照刀^{てら}自50年祭、片山博治主10年祭、片山肇主1年祭を勤めさせて頂きました。

片山^{存し}志先生は片山俊次3代会長様の弟になります。照夫人との間に男4人女2人の6人の子供が居られて、娘2人は他系統の信仰家庭に嫁がれ、息子4人のうち二男と三男も他系統へ養子に行かれました。

そこで長男の片山肇先生は生前中ずっと、^{存し}志・照夫妻からつながる子どもや孫・曾孫等が本島大教会に集うことを夢見て、願いを語っていらっしやった経緯から、片山肇先生お出直しの喪主を勤めた片山直明氏が、このたびの大教会での年祭を実現させた次第です。当日は81名ものご家族ご親族が本島に集いました。祖霊殿の儀を終えて、講堂で会食を催し、懐かしく歓談させて頂き、最後に年祭ではありますが本島らし

さということ、「本島音頭」を全員が輪になって踊りました。踊りの手は皆さんほとんど知らないと思うのですが、見よう見まねで踊り、さらに「香川県民謡「一合まいた」も踊ってお開きとなりました。

その数日後に聞かせて頂いたお話です。年祭に参拝したまだ小さいお子さん。^{存し}志先生から見ると玄孫^{やしご}に当たるそうです。アンパンマンが大好きなこの玄孫は、本島での年祭から戻るとアンパンマンの歌ではなく「一合まいた」を歌って踊るようになったと言っています。両親も祖父祖母びっくりされていました。

アンパンマンの歌は親しみやすいし動画もたくさんあるので、子ども達の人気者ですが、なぜこの玄孫は「一合まいた」で踊るようになったのか。

これは私の思案になりますが、やはりそこに玄孫を感化する不思議な

雰囲気があったからではないかと思うのです。

前真柱様は教会の使命について「陽気ぐらしの国々処々における手本となるよう、雰囲気をそこに出すこと」と仰せられています。手本となるよう雰囲気を出す。

考えてみると、全員が輪になって、真ん中にお手本となる人が踊り、それを皆で真似しながら踊ったのですが、子どもの目線から見ると、両親もお祖父さんお祖母さん、お兄さんお姉さん、年齢を問わずみんなが楽しそうに陽気に踊っている。その雰囲気が民謡「一合まいた」に乗って、伝わったのではないのでしょうか。

世代や立場を問わず、陽気ぐらし世界建設という同じ目的をもって、つとめさせて頂きたいと思えます。今月もありがとうございます。

(文責・本島通信編集室)

※片山^{存し}志先生の□は、上部が「竹」、下部が「中」の外字

9月は「全教会布教推進月間」 にいがけ名簿・おさづけ取次ぎ報告 全教会提出 全教会を布教実動拠点に(布教部)

「優しい心持ってくれ。これより楽しみ無い。」

大教会役員 鳥澤繁實 とりざわしげみ

只今は陽気に勇んで、大教会長様、奥様を芯に7月の祭典を勤められたこととお察し申し上げます。

私自身、しばらくおちば、大教会に帰っておりません。誠に申し訳なく思っています。

私の最近のおちばがえりは2019年10月で、約5年前になります。それまでは年に数回帰らせて



(ウイルソン教会にて動画収録)

頂いておりましたので、渡米して以来こんなに長く帰れないことは初めてです。

理由は以前にもお話ししたと思いますが、飛行機で移動中、気圧が変化したときに気を失うことが何度もあったからです。最近では頭もふらつくようになり、耳鼻科の専門医に診てもらっていますが、原因は不明です。以来、飛行機に乗ることに躊躇している次第です。

さて、今月の祭典講話は動画を通してとなりました。大教会長様よりご指名を頂き、また7月はへこどもおちばがえりが開催され、本島鼓笛隊は合宿と御供演奏が行われます。そして多くの皆さまが鼓笛隊経験者であることと思いますので、本日は本島鼓笛隊をテーマにお話しさせて

頂きます。しばらくお付き合いいただきますようお願いいたします。

私が天理大学在学中に、本部主催の鼓笛講習会でベルリラ(通称ベル)の講師を勤めたことがあります。この時の経験が、後の本島鼓笛隊で大変役立ちました。

ベルは独特のリズムやアドリブ的な打ち方が多々あります。早打ちのメロディーは手がついていけると気持ち良さを感じる一方で、複数人で演奏したとき、打つタイミングが少しでもずれると耳障りになります。

研修会ではこのことを厳しく練習に求めました。そしてベルのメンバーが自発的に特別訓練(特訓)を始められ、それが研修会全体にとてもよい影響を与えたこともありました。鼓笛隊が生まれた昭和40年代初め、鼓笛隊の楽譜は少年会本部(昭和41年設立)から出されたその年のこともおちばがえりテーマ曲だけでした。

その楽曲は、ファイフは高めの音域が多く、しかも8分音符や16分音符が連なる高度な編曲になっていました。小学校低学年の子ども達には、音を出すことも、指使いも難しく、楽譜を覚えることは本人はもろろん教える方も大変でした。

ある指導員は子どもに「演奏中は、楽器を構えて指だけ動かしておけ」と言っていたこともありましたが、ファイフの練習は指導員も教わる子ども達も大変でした。

そんな中、出来上がったのが「エレメンタリーマーチ」です。

単純なメロディーですが、指使いは容易で、メロディーも楽譜も覚えやすく、教える側は負担が小さくなり、練習中怒鳴ることもなくなり、低学年の子ども達も含め皆さんを元気にできた曲でした。

この楽曲の編曲が完成したとき、当時隊長だった片山肇先生は「これはいける。そしてタイトルそのものだ」と太鼓判を押して下さったことに私も一安心して、早速その日、片山昇総長に報告して、大教会神殿奉仕当番の先生にお願いして楽譜を三宝にのせて親神様に御供し、お勤めをさせて頂きました。

その時の奉仕当番の先生は、残念ながら覚えておりませんが、「神様をお願いするときは、理立を添えてお願いすることが大切である」という仕込みを下さいました。

次にアコーデオンを意識して編曲したのが「士官候補生」、続いてド

ラムが整ってきたところで編曲したのが「RYG」です。

「RYG」はアメリカのシンボルのな曲や映画音楽をドラムマーチでつないだ楽曲で、皆さんからご好評を頂き嬉しく思いました。

また、イーグル(鷹)をデザインした隊旗を製作し、イーグルを本島鼓笛隊のシンボルにしようと話し合われたのもこの頃でした。イーグルメンバー(主に中学3年生の隊員)という言葉が生まれたのもこの頃だったと思います。

合宿は厳しかったですが、屋釜海水浴場での海水浴は指導員も隊員も一緒になって楽しんだことが忘れられません。

その中でも指導員だけが楽しんでいた、ぼつんとしている子どももいると、片山昇総長は指導員に「子どものことをしっかり見ているのか」と強く叱っていました。どこにいても子ども第一でありました。本島から天理までの移動は、バスを連ね7〜8時間かかりましたので、ドライバーはもちろん子ども達も大変だったと思います。

昇総長はジープにイーグルメンバーを乗せ、フラッグを持たせて手

旗信号を作ったり、ボール紙に手書きで次のトイレ休憩や食事の情報をバスに乗っている子ども達に伝えたりと、退屈しないように喜ばせる演出をしたりしていました。

旧詰所から本部神殿までは、この当時天理本通りを行進して皆さんを驚かせ、喜ばれました。本通りの皆さんは毎年本島鼓笛隊を楽しみにして下さっていました。

特に初日は、天理本通りを行進し、南礼拝場前で整列した後、こどもおぢばがえり団体事務所へ移動。上級班長を先頭に「本島鼓笛隊、総員何名、只今おぢばに帰らせて頂きました」と元気に挨拶し、団体事務所の皆さんや、近くにいらつしゃった方々から拍手を頂きながらの移動でした。当時、どの団体もこのような挨拶はされてなかっただけに、皆さんに強く印象付けられたと思います。

この頃、鼓笛オンパレードはなく、南礼拝場前にその日の団体が集まり、全員で御供演奏をしたり、夕づとめ後は天理プールでプールサイドお楽しみ行事が催され、それを観るのが子どもにとって一番のお楽しみだったと思います。

50メートルプールの北側スペース

に、出演希望した団体が複数まとまって演奏している中、200人を超える本島鼓笛隊は単独で出演しました。

当時としては格好良くスタイリッシュな隊服を着た本島鼓笛隊に照明が当たると「わお」とどよめきが聞こえました。そこにスポットライトに照らされた片山肇隊長の指揮のもと演奏が行われました。

当時は現代のようにビデオカメラのない時代でしたので、マイクを持ってレコーディングしながら我々に付いてくる人達もいました。

天理高校吹奏楽部の指揮者である矢野清先生から、お誉めの言葉とアドバイスを戴いたこともありました。そしておぢばでの行事を済ませると、再び大教会に戻り、今度は神殿前でキャンプファイヤーなど楽しい企画されていました。

総会後のパーティーでは、子ども達が喜ぶメニューを豊富に用意されました。この時の子ども達は目を丸くして、好きなものを嬉しそうに探し求め、好きなものを嬉しそうに食べていた光景は今も胸に浮かんできます。

それは、あの暑い中の行進練習、楽器練習、規律厳しい生活をやって

きたことが吹っ飛んだ子どもに戻った表情でした。

片山昇総長は、指導員ミーティングで事前に、指導員同士は無駄話をしないよう、できるだけ子ども達に声かけするなど、細かく指導されていました。

合宿が終わり、それぞれの地域に帰る別れの日は、「また会おう」と声を掛けながら涙する子ども達の姿も見られました。

昭和44年8月5日は広島平和記念パレードに出演。同年11月は静岡県清水市と静岡市でパレード、また5月に行われる神戸市カーニバルには何度も出演したり、小倉や本九分教会のある唐津、相知町でも「にいがけパレード」を実施したりと、昇総長は何かの行事に鼓笛隊が出られるよう、人脈を大切に作っていらつしゃいました。

昭和45年8月3日と4日は、大阪万博に2日間2回ずつ出演しました。この時、残念ながら私は疲れ果て体調不良により、拠点となった本攝分教会に残っていました。そしてどのようにして大阪から本島に戻ってきたのか思い出せません。その年の夏の動きは私にとっても厳しかった

ただだけが記憶に残っています。

今はアメリカに居ながら、You

Tubeで本島鼓笛隊の勇姿を懐か

しく見ております。皆さんしっかり

足を上げ、ファイフの音もよく聞こ

え、素晴らしいパレードです。

詰所での前夜祭の動画も拝見してい

ます。指導員の皆様が頑張っていて

しゃるることがよく伝わってきます。

また本島通信で、婦人会「MOM

Oの会」が鼓笛隊服のワッペン付け

ひのきしんを行っている記事を見

しました。

ワッペンは隊員が隊服を着て格好

いいものですが、実際には大変手間

のかかる作業です。それも子どもが

元気に喜べることを願いながら縫い

付けていらっしやることでしょう。

皆さん頑張っておられるのだなあと

胸が熱くなります。

おさしづに、

「皆さん心持って、優しい、優し

い心持ってくれ。これより楽しみ

無い。」(明治33年7月3日)

優しい心にはいろいろな意味合いが考

えられますが、思いやりも含まれる

と思います。

本島鼓笛隊を支える皆さまのひ

のきしんは、まさにこのおさしづに

いづれもおぢばがえり開幕

「立教187年いづれもおぢばがえ

り」が7月27日より教会本部で

開催されました。

これに併せて、第112回本島団

鼓笛隊夏季合宿が7月26日より

本島詰所で始まり、31日までの

日程で、96名の隊員と指導員が

規律ある練習を行っています。

また詰所館内では手作りゲー

ムコーナーを準備して、子供達

の帰りをお待ちしております。



鼓笛隊夏季合宿のようす(詰所玄関前)

沿ったひのきしんだと思います。

これからも本島鼓笛隊のご活躍

を願うとともに、皆さまのご真実

に心よりお礼を申し上げます。

(文責・本島通信編集室)

すき間の おはなし

猛暑まつり

今年7月22日の大教会月次祭はとんで

もなく暑い一日でした。気象庁の気象デー

タによると、最高気温35・9℃でした。

おつとめ奉仕ならびにご参拝の皆さま、

お疲れさまでした。

そこで気になりましたので、昭和20年

以降80年間、7月22日の最高気温と最低

気温を調べてみました。

最も暑かった年は、1994年と

2018年の36・0℃。今年は第3位

となりますが、今年は前日の21日に36・

0℃を記録しています。

一方、最低気温は今年28・0℃あり、

これは2000年に記録した27・7℃を

上回る、もっとも寝苦しい朝でした。つ

まり一日の平均気温は戦後一番高かった

ということになります。(平均31・4℃)。

本島では毎年7月第3日曜日が正覚院

(山寺さん)の夏まつりで、柴燈護摩(火

渡り修行)が行われます。今年は7月21

日でしたので、筆者も見学させて頂き、

初めて火渡りを体験しました。

ここでは一千年以上、炎天下、山伏等

が装束に身を整え、護摩木を燃やし、般

若心経を唱え、炭の上を歩かれています。

教祖伝には明治13年9月30日(陰暦8

訃報

本速分教会長 松本鴻一氏

松本鴻二氏(本速分教会6代会長)

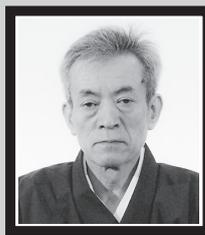
は去る7月

22日午前2

時30分お出

直しになり

ました。享年89歳。



葬儀はみたまうつしを7月23日午後6時より、告別式を翌24日午後1時30分より、大阪府豊中市内の葬祭場にて、片山直明・本速分教会長斎主のもと執り行われました。

松本鴻二氏略歴 昭和10年11月21日生まれ。昭和50年4月29日、おさづ

けの理拝戴。立教15年12月27日、修養科第60期修了。立教15年11月22日、

大教会神殿奉仕人。立教16年9月14日、教会長資格検定講習会翌期修了。

同年9月24日、教人登録。立教16年2月20日、教会長資格検定合格。立

教16年12月26日、本速分教会6代会長拝命。教会長在職期間17年7ヶ月間。

曲折の道が記されています。

「暑いあつい！」と言いながら、日陰の

屋内でおつとめを勤められることは、な

んとありがたいことだろうとつくづく思

いながら、同時に島の歴史に心が引き締

まる思いでした。(むかいじよ)

七月月次祭 祭典役割

献饗長 岡崎八十則
伝 供 永島宗行・大上道徳・原口実・後藤正治・奥村龍夫・伊東康成・高垣光治・雲庵春彦・片山直明・茶屋原良昭・横山正次・高島栄造・長尾海和・窪田卓夫・白垣初生・香川勝巳・鎌田典夫・滑川善久・宮路和徳・
 河村旬一・村田輝夫・古井信・大西剛・川村吉夫・江草克一・溝口晋太郎・松下尚一・岩橋秀一
雅楽奉仕者 文岡育則・池田恒治・片山秀明・上山薫・伊東賢太郎・鎌田康典・白垣俊生(順不同)

祭主 指図方	大教会長 岩橋竜造	座りづとめ	老木邦光 井上 哲	てをどり前半	岩橋元博 横関茂治
	厩者		賛者		
地 方	片山 勲 西山道徳 平井真治郎	てをどり後半	吉田晴雄 大上道徳 後藤正治	高島栄造 長濱充憲 古井 信	
	てをどり				
ち び っ ぽ ン 拍子木 太鼓 すりね 小鼓 三味線 胡弓	岡崎八十則 雲庵道延 寺本教生 窪田靖明 老木邦光 永島宗行 片山 榮 長尾澄子 池田さわみ	高垣光治 横山正次 奥村龍夫 長尾海和 伊東康成 片山直明 向所暉美子 岡崎宏子 岩橋晶子	岩橋秀一 須崎晴道 上山康雄 窪田卓夫 田中丸勝也 松下尚一 雲庵瑞穂 横関明美 梅木澄代	鳥澤繁實(米国より動画による)	

七月月次祭祭文

立教百八十七年七月二十二日

この神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教本島大教会長片山幹太慎んで申し上げます。
 親神様には限りなく深い親心と尽きせぬ御守護のまにまに幾重の道すがらも成人の歩み恙なくお連れ通り下さいます御慈愛の程は誠に有難く勿体ない極みでございます

私共は届かぬながらも御恩報じを念じそれぞれが教祖の道具衆としての自覚を高め勇んでたすけ一条のひながたの道を辿らせて頂いておりますがその中にも今日の吉き日は当大教会の七月の月次祭を執り行う日柄を迎えましたので役目に与るおつとめ奉仕者一同心を一つに合わせて只今から座りづとめてをどりを陽気に勇んでつとめさせて頂きます

御前には折からの暑さといわず国の内外から帰り集いました道の子供達が日頃賜る厚き御守護にお礼申し上げ共におうたを唱和してつとめに勇む状をもご覧下さいまして親神様にもおのみ下さいますようお願い申し上げます

尚去る六月二十四日御本部では三代真柱様中山善衛様の十年祭が執り行われ大勢の参拝者に対して宮森与一郎先生から「教祖百四十年祭に向けて三年千日の歩みを進めるこのときにもう一度前真柱様からお教え頂いた教えを胸に思い起こし今の真柱様にしっかりと心を添えて年祭活動を確認にしっかりと進めさせて頂きたい」とのごあいさつを賜り幾多の御恩にお報いさせて頂けるよう固い決意の程をお誓い申し上げます次第でございます

本年も「こどもおぢばがえり」が七月二十七日から八月四日にかけて開催され「本島鼓笛隊」では

七月二十六日より三十一日まで「第百十二回夏季合宿」を実施させていただきます

尚期間中の二十九日三十日の両日には子育て中のお母さんを中心とする「MOMOMOの会」が「女鳴物勉強会」を詰所を会場に開催させていただきます
 更に恒例の「学生生徒修養会高校の部」が八月九日より十三日までの五日間おぢばで開催されます
 又「本島学生会サマーキャンプ」が八月十八日から二十日の間に実施され続いて二十日から二十一日には恒例の「少年会本島団第三十四回総会と夏のつどい」を大教会に於て開催させていただきます

道の後継者育成の上には少年会員道の学生が育成会員と共におぢばや大教会やそれぞれの教会に集い教祖の御心に触れて喜びと感謝の心を養わせて頂けるよう互いに声を掛け合い丹精に努めさせて頂く所存でございます

何卒期間中無事に運ばせて頂けますよう御守護を賜わり互いに立て合いたすけ合う陽気ぐらしの世の状にお導きお育ての程を一同と共に慎んでお願い申し上げます(原文のまま)

入社祭 (立教187年7月22日)

▼マリーナ△Tristen Reeder

【計1名】

7月22日(月)
 【香川県丸亀市】

天候	晴
最低気温	28.0℃
最高気温	35.9℃
平均気圧	1009.3 hPa
平均湿度	68%
平均風速	2.0 m/s
日照時間	12.4 時間
降水量	0.0 mm

吉松峰分教会2代会長就任奉告祭



吉松峰分教会(吉野正晃)

会長・静岡県浜松市中央区)では、吉野俊宏前会長のお出直しにともない、本年5月26日のお運びで吉野正晃氏の教会長任命の理のお許しを戴いておりますが、去る7月4日午前10時より大教会長夫妻を迎え(随行・向所隆文准役員)2代会長就任奉告祭を執り行いました。



当日は快晴、浜松市内は最高気温35・6℃を記録し、熱中症警戒アラートが発令される中、各地より参拝者46名が集いました。

挨拶に立った大教会長は、まず吉野育子初代会長夫人に労いの言葉を送られた上で、吉野俊宏初代会長について「ひのきしん一条の先生で、大教会では毎月祭典後のゴミ収集から、初夏はこのほり台の設営など、なんでも勇んで勤めてくださった」と、さらに「言葉遊びが好きで周囲を笑顔にしていた」とを回想。論議に示されている「心の闇路をさまよっている」世の中の人に対し、道しるべとなる心明るいようほくという漢字は月と日から成り立っています。月は男性の理で、日が女性の理を教えられます。月は太陽に照らされて初めて光ることを思案すれば、特に教会は女性の明るさ

布教勉強会(本千代)

本千代分教会(吉田晴雄会長、千葉県市原市)では6月30日、同教会を会場に「布教勉強会」を開催。18名が参加しました。

これは本千代分教会後継予定者である吉田貴慶氏が昨年度一年間、布教の家埼玉寮に大切だと思えます」と述べられました。

続いて「苦労には二つの種類があります。一つは、親神様の本真実に基づいた『たすけ一条の苦労』。もう一つは我が身勝手な通り返しによる『悪いねんの苦労』。大教会神殿には真柱様のご揮毫『たすけ一条』を掲げています。そのお心にお応えさせて頂くためにも、教祖140年祭に向かって心明るく、たすけ一条の苦労を苦労と思わなくなるほど勤めさせて頂きましょう」と述べられました。

続いて猛暑の中、熱気あふれるおつとめを陽気に勇んで勤められました。



入寮した関係から、副寮長である杉田由紀子先生(本芝部属・本理仁分教会初代会長)からお声を頂いての運びとなりました。

当日、杉田先生は同教会所属の女性布教師4名を伴って教会へ。まず杉田先生よりにいがけの心構えを聞いた後、5つの班に分かれて戸別訪問によるにいがけに歩きまわりました。その後教会で、2つに分かれて振り返りを行い、最後に杉田先生の体験談を聞かせて頂きました。

吉田晴雄会長は「布教体制の整った本芝房部内・本理仁分教会の精鋭布教師の方々と共に歩き、練り合って学び、

また「教祖を日々感じて通るには、にいがけに歩くことが大切です」と、講師の熱のこもった魅力的な講話に引き込まれ、その信仰信念や布教力に圧倒されつつも、年祭活動の大きな後押しを頂きました」とのことでした。

カカコ教会創立90周年

カカコ教会(木村パロン会長、米国ハワイ州ヒロ市)では6月2日、創立90周年記念の月次祭が勤められました。参拝者32名。小原仁郎ハワイ伝道庁長夫妻、斉藤コーリンホノルル教会長夫妻も参拝されました。



片山笛志・照夫妻50年祭、親族81名集う

片山^{たけし}□志^し主50年祭、照^{てる}刀^{たけ}自50年祭ならびにご夫妻の四男片山^{ひろし}博^{ひろ}治^し主10年祭、長男片山^{はじめ}肇^{はじめ}主1年祭は、6月29日午後3時より本島大教会祖霊殿において大教会長祭主のもと執り行われ、ご夫妻につながる子、孫、曾孫、玄孫など81名が本島に集いました。

祖霊殿の儀に引き続き、鶴ヶ丘墓地参拝、長尾宅見学、夕づとめ後は講堂にて会食を行い、親睦を深めました。



本島通信にみる「片山^{たけし}□志^し」略歴
明治44年8月25日、片山好造・ハルの次男に生まれる。昭和9年4月18日、田中丸照子と結婚。昭和14年頃、応召。昭和15年1月22日、本島大教会承事。昭和21年5月21日、大教会子弟教養部長。昭和26年11月24日、朝日放送よりラジオオ布教(題:倫理を超えて)。昭和27年9月2日、本部教議員(香川)に選出(2期勤める)。昭和34年7月26日、本部集員に任命され議長に選出(4期勤める)。昭和34年より、大教会神殿ふしん常駐。昭和36年10月26日、本部たすけ委員会常任委員。昭和42年9月22日、大教会海外布教部長兼史料集成部長。昭和45年、本部准員登用。昭和46年10月1日、本部国内布教伝道部長。昭和50年1月24日出直し(享年65歳)。昭和21年より大教会神殿講話を計49回勤められました。



片山□志・照の結婚式写真
(昭和9年4月18日)



(写真)瀬戸大橋ライトアップと満月

※片山□志の「□」は、上部が「竹」下部が「中」の外字。文字コードの世界標準規格にない文字のため、表示することができません。見出し語のみ作成しました。ご容赦ください。

「初」おやさと練成会事前合宿

おやさと練成会(本部海外係)で、練成会が始まる7月16日まで(別席を8席運び終えていることが参加要件になっています)。

9月9日から16日までの期間、「おやさと練成会英語コース事前合宿」を本島詰所で実施。英語コース受講生21名のうち12名(うち本島から3名)とカウんセララー2名、スタッフ1名の計15名が参加しました。事前合宿を行うのは今回が初めてとなります。

おやさと練成会では期間中おさづけの理拝戴を目指してプログラムが組まれている関

縮され、受講生はようやくお互いに慣れたところで終わってしまうことも重なり、学生達の交流を深めるためにも事前合宿の要望が高まり、今回の初開催につながりました。事前合宿は本島詰所北棟3階の海外帰参者用宿舎を利用しました。

なお英語コース受講生は練成会最終日の7月20日に、全員おさづけの理を拝戴することができました。



事情はいび

(立教187年7月27日)

本福分教会

教会長 上田敬子

神床位置変更願

臨時祭典願

鎮座祭 立教188年3月29日

奉告祭 立教188年3月30日

カイクキ教会

任命願

新任教会長 鈴木テイシ・タニエル

移転願

移転地 4598 Waikui st.
Honolulu Hawaii U.S.A.

改称願

ニュービギニング教会

御日標再奉祀願

臨時祭典願

鎮座祭 立教187年8月16日

奉告祭 立教187年8月17日

以上



おどづけの理拝戴

(立教187年6月分)

本室 北嶋久仁彦

本千賀 山本蓮人

鶴峰 中村直登

【計3名】

修養科第995期修了

(立教187年7月27日修了)

本太 佐藤祥子

【計1名】

をびや許し

(立教187年6月分)

本小倉 江崎千耶子

マウイ

Cynthia Hibiki Shiraki

【計2名】

証拠守り下附

(立教187年6月分)

本淀1、本中国1、文峰1

【計3名】

大教会長動向

▼8月(予定)▲

1日、アメリカ巡教より帰国

3日、本福分教会遷座祭

7日、19日、ハワイ巡教

16日、17日、ニュービギニング

教会鎮座奉告祭

21日、少年会本島団第34回

総会と夏のつどい

22日、大教会月次祭執行

24日、修養科門出まなび

25日、かなめ会委員会

25日、宮森与一郎先生

おてなおい

26日、本部月次祭参拝

27日、かなめ会

30日、本部神殿奉仕当番

以上

ろくぢ会 (立教187年6月分)

▼本島△片山幹太・片山かおり・

香葉子・幹太郎・好次・昇太△片

山秀明△長尾真実・幸太 ▼本権

△大上ほの香・はる香・太吉 ▼

本浜△片山清枝・正枝・誠 ▼崇

徳分教会 ▼本高△菅岡新

ポートランド△片山和信・陽子・昇

慶・竜次
ご芳志に厚くお礼申し上げます

青年会with栗太分会



青年会本島分会(伊東賢太

郎委員長)では、7月6日と

7日に「レッツゴー青年会w

ith栗太分会」と題し、滋

賀県草津市にある栗太分教会

へ出向き活動しました。

青年会本島分会と栗太分会

はこれまで、おやすとふしん

青年会ひのきしん隊にて同じ

班で勤めたことから交流が始

まり、過去2回、栗太分会が

キャラバン隊として本島大教

会へ来訪し、ひのきしんをし

て下さった経緯があります。

今回はこれに応える訪問とな

りました。

本島分会より11名、栗太分会8名、水口分会2名の計21名で、教会周辺の神名流しを始め、境内地の除草や伐採作業、琵琶湖のブラックバス等害虫駆除ひのきしんを行いました。

本島野球部・予選突破

第51回全教野球大会に向けて、6月30日に高松市立東部運動公園にて香川県予選が行われ、本島野球部(岡崎八十則部長)は1回戦、双名島大教会に13対0、2回戦は高松大教会に10対5で快勝し、予選を突破しました。

なお本戦は11月29日から12月1日までの3日間の日程で、親里白川グラウンドで開催されます。



9月は「全教会布教推進月間」

全教会を実動拠点に(布教部)

本部布教部(土佐剛直部長)

では、今年と来年の9月一ヶ月間を「全教会布教推進月間」とし、全教会を布教の実動拠点にする目標を発表されました。

これを受けて、大教会布教部(平井真治郎部長)は、従前より行ってきた「にをいがけ名簿」と「おさづけ取り次ぎ」報告の、全教会提出を掲げ、未提出教会に声かけを行って行くことになっています。

みちのとも8月号に、「全教会布教推進月間」に向けての布教部長談話が掲載されています。

その中で、

「ひながたを歩ませていただく」と考えたとき、一番大切なことは、教祖をお慕いする気持ちだと思えます。お慕いしているからこそ、教祖が歩まれた道、おっしゃったことをしっかりと実践させてもらおう

うという気持ちが生まれてくると思うのです。」(中略)「ま

ず先頭に立つ教会長夫妻がひながたの実践を心がけ、たすけの道場である教会で年祭活動を展開するんだ、教会

でよふぼく・信者を丹精するんだという思いを強く持つていただきたいのです。」

と、「教祖をお慕いする気持ち」で布教することを示されています。

大教会より各教会に全教会布教推進月間「実動計画書(8月31日締切)」と「実動報告書(10月21日締切)」用紙を配布しております。それぞれご記入の上、必ずご提出ください。

本島ドットコムからも所定用紙をダウンロードできます。

今年、本部布教部で新たに作成されたリーフレット『ふし』あれば「こそ」は、道友社webストアから購入できます。(50枚1セット120円)

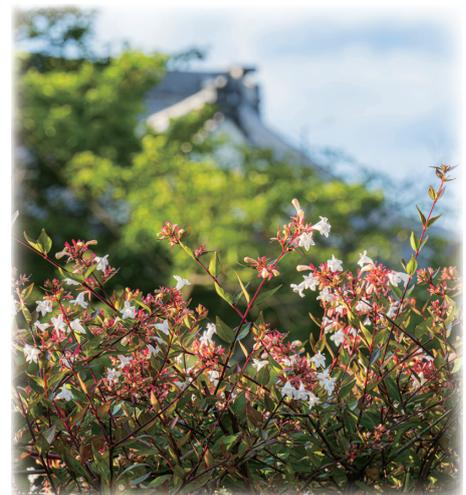
布教部報告(7月分) 数字は本年の提出回数です

統計 (6月1日~30日)

にをいがけ名簿提出教会 (7月)					
樺太	7	本千治	5	吉峰	6
本中	4	本平濱	1	神峰	2
本倉岡	6	本攝	7	豪峰	7
本樺	7	攝泉	5	倉峰	7
本室	4	フリップ	2	大雄峰	5
渋谷	5	本萩	7	雄福峰	7
代々木	5	琴浦	3	雄山峰	4
本萬代	5	本山海	2	栄森峰	6
本都	6	安藝本中	4	栄星峰	5
本京	7	本備前	7	栄東峰	6
本東	3	本府中	7	霊峰	6
本草	7	沖浦	7	實峰	6
本護	5	本清水	4	大隅聖峰	6
本三	5	崇徳	7	大駿峰	6
本恵	7	与島	6	別峰	5
本恵明	7	本勇	1	大英峰	7
本静濱	6	本宣道	6	文峰	7
本静森	5	本九	7	鶴峰	6
本日米	7	本陽山	7	都峰	7
本浜	5	本肥港	4	仙峰	7
本米	5	本千嘉	1	ラナイ	1
本米里	7	本新田	7	ハリウッド	2
本米浜	5	赤峰	7		
本千代	7	雅峰	7		
計 70 教会			757 名		

おさづけ取次報告教会 (7月)					
本島	7	本千治	4	雅峰	7
樺太	7	本攝	7	神峰	2
本中	3	攝津	5	豪峰	7
本倉岡	6	攝泉	7	倉峰	7
本樺	7	本太	7	栄峰	4
本室	4	本萩	7	大雄峰	6
渋谷	4	本岡	1	雄福峰	7
代々木	5	本水島	3	雄山峰	7
本萬代	5	安藝本中	6	栄森峰	5
本都	5	本備前	7	栄星峰	3
本京	7	本迪	4	霊峰	6
本東	3	本府中	6	大隅聖峰	5
本道盛	7	沖浦	7	大松峰	6
本草	7	本亀	5	大駿峰	7
本護	3	本清水	6	別峰	5
本三	5	崇徳	7	大英峰	7
本恵	7	与島	5	文峰	3
本恵山	5	本勇	4	肥後八峰	7
本恵明	7	本高	7	銀峰	4
本静濱	6	本九	7	新信峰	6
本日米	7	本小倉	3	鶴峰	7
本米	7	本陽山	7	都峰	6
本米里	7	本肥港	7	仙峰	7
本米浜	7	本新田	6	ラナイ	1
本千代	7	赤峰	7	ハリウッド	6
計 75 教会			1,700 回		

教会名	初席	中席	聖日壇	修養料	教人講習	検定講習
本島				1		
本室			1			
本千代		1		1		
本千賀			1			
本小倉		1				
本吉峰	2					
本倉峰	1	2				
本肥後八峰			1	1	1	
本鶴						
合計	3	4	3	3	1	0



大教会表参道のアベリア

大教会からの お知らせ

7月22日教会長会議連絡事項

宮森先生おてなおい

【おつとめ修練部】

- 日時：8月25日(日)午後3時より
- 会場：本島詰所4階講堂
- ※急きょ変更になる場合もあります。

少年会総会と夏のつどい



【少年会本島団】

立教187年天理教少年会本島団
第34回少年会総会と夏のつどい

- 期間：8月20日(火) 16:00～21日(水) 21:00頃解散
- 受付：8月20日16:00より
- 参加御供：1000円
- 会場：本島大教会
- 対象：少年会員
- ※未就学の少年会員には引率者の付添をお願いします
- 内容：少年会総会(21日午前)おつとめ練習、ひのきしん、海浜行事、お楽しみ行事など
- 携行品：ハッピー(準備できる人だけで結構です)、着替え、帽子、タオル、水着、ビーチサンダル、日焼け対策、お風呂(洗面)道具、健康保険証
- その他：プログラム途中までの参加でも結構です。引率者の方で海水浴の監視が可能な方はお手伝いをお願いします。

あらかとぅりょう入門塾

【青年会本島分会】

- 期日：8月20日(火)午前中
- 会場：本島大教会
- 内容：青年会の話

こかん様に続く会

【婦人会本島支部】

- 期日：8月20日(火)午前中
- 会場：本島大教会
- 内容：こかん様のお話、茶話会

能登半島地震救援支援有志隊

【有志隊】

- 第2回日程：8月23日～25日
8月23日詰所出発、24日活動、25日詰所着
- 作業内容：おもに倒壊家屋の片付け
- 備考：現地での食事や入浴費用は各自負担。諸費用(燃料費・レンタカー代等)は参加人数で均等割。活動にあたっての装備品を持っていない場合(ヘルメット、工具類)は大教会より借用。個々の装備(安全靴、作業着、軍手等)は各自準備。
- 担当役員：岡崎八十則
- 担当窓口：牧野善明
(080-5407-4004)
- お申込みはQRコードを読み取り、フォームの質問事項にご回答ください。

大教会8月月次祭ライブ中継

【本島通信編集室】

- 対象：8月22日大教会8月月次祭に帰参できないため、ライブ中継視聴を希望する方
- 申込方法：メールで、live@honjima.comに「ライブ希望」と「教会名・氏名」を記入してお申し込みください。当日朝ライブ視聴できるアドレスをメールでお知らせします。
- 申込締切：8月21日午後5時まで
- ご注意：ライブ中継は毎月のお申し込みとなります。
- お知らせ：今年の祭典ライブ中継は9月まで行いますが、10月・11月・12月の3回は都合により休止いたします。

秋季雅楽講習会

【青年会本島分会】

- 日時：9月7日(土)午前9時～9月8日(日)午後3時
- 場所：本島詰所
- 内容：初心者は平調、経験者は太食調

<https://www.honjima.com/>

修養科女子教養掛について

【婦人会本島支部】

- 修養科女子教養掛は年間36人体制で勤めさせて頂いております。
- 来年も「希望調査票」は直轄の単立教会は1教会につき1名ずつ、またご部内をお持ちの教会は自教会を入れて4～5教会につき1名ずつの提出をお願いしております。
- つきましては、来年(立教188年)女子教養掛「希望調査票」を、9月22日までお知らせ下さいますようお願いいたします。
- なお、教養掛は「希望調査票」に基づいて編成いたしますが、希望調査票の未提出教会にはこちらからお問合せいたしますのでご承知おき下さい。

〈諸説明〉

- ◆女子教養掛の期間は毎月、①5日～15日、②15日～25日、③25日～翌月5日となります。
- ◆いずれの期間も、本島詰所集合です。初日朝づとめより始まり、最終日夕づとめまでお勤め頂きます。(初日と最終日は前任者または後任者との引継ぎとなります)
- ◆幼児を連れてても可能ですので、ご相談下さい。
- ◆当番表は各所属教会の祭典日を外して決めさせて頂きますが、特に希望する期間(または支障のある期間)がありましたらお知らせください。なおご希望に添えないこともありますのでご了承ください。
- ◆お問合せは修養科世話係(原口和子 080-4312-6924)までお願いいたします。
- ◆提出先：片山かおり支部長(大教会 FAX 0877-27-3323、大教会へ郵送も可)
- ◆提出締切：9月22日

8月ひのきしん派遣依頼

【総務部】

〈大教会・炊事ひのきしん〉

- 期間：8月21日～22日
- 派遣教会：本浜①

〈詰所・食堂ひのきしん〉

- 期間：8月25日～26日
- 派遣教会：本京①、本清水①